

持続可能な交通運輸・観光産業の確立を 九州交運労協 第33回定期総会



九州地方交通運輸産業労働組合協議会（九州交運労協）は 11 月 20 日、福岡市「ANA クラウンプラザホテル」で第 33 回定期総会を開催した。総会では、「連携・協働・共創、交通運輸・観光サービス産業の持続可能な再構築を目指し、社会的役割に相応しい労働環境を実現しよう！」のローガンのもと、①物流クライシス「2024 年問題」の課題解決、②持続可能な公共交通

の確立、③ポスト・コロナ時代における政策対応、④人材確保に向けた労働条件の向上などを柱とした、2024 年の活動方針を満場一致で決定し「陸・海・空・観光・サービス」に働く 12 構成組織・2 万 2 千人が総力を挙げて奮闘していくことを確認した。また、質疑では JR 連合選出の川崎淳史代議員（JR 連合九州地方協議会・事務局長）が、①持続可能な地域公共交通の実現、②物流・建設業における 2024 年問題の 2 点について発言し、産業に対する理解を求めた。なお、役員改選では、議長に古賀孝治氏（私鉄総連・西鉄労組）と、事務局長に高田章男氏（運輸労連・全日通労組）が選出され、25 名の新たな幹事会役員体制を確立した。



（発言をする川崎代議員）

また、JR 連合からは副議長に吉田祥司氏（JR 連合九州地方協議会議長・JR 九州労組中央執行委員長）が選出された。新たに選出された四役体制は以下のとおり。

役職名	氏名	出身組織及び役職
議長	古賀 孝治	私鉄九州地方連合会・執行委員長
副議長	吉田 祥司	JR 連合九州地方協議会・議長
〃	津留 康啓	交通労連九州地方総支部・書記長
〃	古賀 弘	自治労都市交評九州地区連絡協議会・議長
〃	千々岩 隆	国労九州本部・執行委員長
事務局長	高田 章男	運輸労連九州ブロック・代表委員
事務局次長	福田 赴文	私鉄九州地方連合会・書記長
〃	重松 直彦	運輸労連福岡県連・副執行委員長